

作成日:2025年4月 27 日

## 実践力を高める産業看護アセスメント研修 企画書

作成者:帝京大学大学院公衆衛生学 磨田百合子・紅谷悠貴

|   |
|---|
| 概要  |
| <p>&lt;日時&gt; 2025年8月30日(土曜日) 13時00分~16時30分</p> <p>&lt;会場&gt; 貸会議室レンタルスペース Socket(予定)</p> <p>住所: 東京都千代田区麹町 6-2-1 (四ツ谷駅徒歩 4 分)</p> <p>アクセス URL: <a href="https://www.instabase.jp/space/3609031800">https://www.instabase.jp/space/3609031800</a></p>  |
| 目的  |
| <p>産業保健の課題は時代とともに変化し、結核への対策、じん肺や職業がんなどの対策を経て、現在ではメンタルヘルス対策、高齢労働者の疾病対策、女性の健康課題、テレワークの増加による健康課題対策など多様な健康課題となり、より深刻化してきている。これらの課題の解決には、これまで以上に看護の専門性が求められる。このような現状を理解し、看護の理念に基づき、個人、集団/組織の両面からアセスメントし支援することが必須となる。また、一般企業では、労働災害防止のため、労働安全衛生マネジメントシステムを導入し、産業保健スタッフと協働し取り組んでいる。そこで、産業看護職(保健師・看護師)の基本的な考え方、役割等を理解し、組織の産業保健の課題・強みを産業看護アセスメントツールを用いて把握したうえで、課題の中からより優先的な課題を抽出できる。また、労働安全衛生マネジメントシステムに基づき、他職種との合意形成を行い、組織の課題および対策を共有し、事業者が継続的かつ有効な対策を実施できるように産業看護職が支援できることを目的とする。</p>  |
| 具体的な内容  |
| <ol style="list-style-type: none"><li>1. 挨拶(企画意図を含め) (5分) 13:00~13:05<br/>担当:紅谷悠貴</li><li>2. 講義 (90分)13:05~14:40 (休憩 5 分含)<ul style="list-style-type: none"><li>・産業看護活動のためのアセスメントの重要性<br/>講師:河野啓子(日本産業看護学会理事長 四日市看護医療大学名誉学長)</li><li>・実践に役立つ組織の産業看護アセスメントおよび課題抽出と対策立案<br/>(目標:労働衛生マネジメントシステムを理解しつつ、組織のアセスメントができる)<br/>講師:磨田百合子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師)</li></ul></li><li>3. グループワーク・まとめ (85分)15:00~16:25<br/>事例を用いて、アセスメント・課題の抽出・対策立案を実施<br/>進行:紅谷悠貴(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 研究員)<br/>磨田百合子(帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師)</li><li>4. おわりの挨拶 (5分)16:25~16:30<br/>担当:紅谷悠貴</li></ol> |
| 対象  |
| 企業で働く産業看護職 15~20名程度 (産業保健に関心ある産業看護職も可とする)   |

予算

参加費:2,000 円

\*会場費として、認定研修審査に申請

産業保健看護専門家制度

・講演2

研修科目:②総括管理 1.労働安全衛生マネジメントシステム

・演習3

研修科目:②総括管理 1.労働安全衛生マネジメントシステム

企画メンバー

・磨田百合子 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 講師

・紅谷 悠貴 帝京大学大学院公衆衛生学研究科 研究員